

Topics

◆ 1月から「届書作成プログラム」「仕様チェックプログラム」改訂版が利用可能に

平成29年1月4日より電子媒体申請において、「届書作成プログラム」と「仕様チェックプログラム」の改訂版が利用可能となった。新しい「届書作成プログラム」と「仕様チェックプログラム」では、「算定基礎届」「月額変更届」において短時間労働者に対する適用拡大に対応している。また、新しい「届書作成プログラム」では、提出ファイル作成欄よりFD・MOに関するアイコンを削除した。いずれも管理者権限をもつ担当者は、改訂版をインストールすることで利用可能となる。

【届書作成プログラム】

変更ページ：1～12、14、15、18、21、23～25

削除ページ：第3章（提出用のFDを作成する）

【仕様チェックプログラム】

変更ページ：2、4、6～16、23～25、27～31、33、39

削除ページ：11

◆ 「平成27年度年金記録の訂正に関する事業状況」を報告～第4回社会保障審議会年金記録訂正分科会

厚生労働省は平成28年12月22日、第4回社会保障審議会年金記録訂正分科会を開催した。議事は「年金記録の訂正に関する事業状況（平成27年度）」で資料に基づき報告と審議が行われた。

平成27年度の訂正請求の受付・処理状況を見ると、年金事務所による受付件数は7,293件（厚生年金6,407件、国民年金825件、脱退手当金61件）で、処理件数は5,779件（厚生年金4,998件、国民年金715件、脱退手当金66件）であった。処理中事案は8,516件（厚生年金7,368件、国民年金1,060件、脱退手当金が88件）であった。請求者についてみると、請求者全体で2,668人で、請求者が被保険者本人であったのは2,564人、被保険者の遺族であったのは105人と被保険者本人が圧倒的に多く、その年代は50～65歳が多くなっている。内容的には主に下記のようなものに分類される。

また、平成27年度の審査請求については、受付件数178件（厚生年金84件、国民年金77件、脱退手当金15件）、裁決件数30件（厚生年金15件、国民年金13件、脱退手当金2件）であった。不訂正訂決定処分となったのは1,483件（厚生年金843件、国民年金580件、脱退手当金60件）で、うち審査請求件数は176件（厚生年金84件、国民年金77件、脱退手当金15件）であった。請求者についてみると、請求者全体で2,668人で、請求者が被保険者本人であったのは166人、被保険者の遺族であったのは10人と被保険者本人が多く、その年代は75歳以上が最も多くなっている。内容的には訂正請求と同様に分類される。

主な訂正請求・審査請求内容

【厚生年金】

- ・標準賞与額に係る訂正請求（標準賞与額の相違、賞与支払の記録なし等の訂正を求めるもの）
- ・被保険者期間に係る訂正請求（資格取得日、喪失日の相違、資格記録（加入記録）なし等の訂正を求めるもの）
- ・標準報酬月額に係る訂正請求（標準報酬月額の相違、標準報酬月額の改定記録なし等の訂正を求めるもの）
- ・その他の訂正請求（被保険者種別の相違、厚生年金基金加入人員別の相違等の訂正を求めるもの）

【国民年金】

- ・保険料納付に係る訂正請求（国民年金保険料納付記録なし、付加保険料納付記録なし等の訂正を求めるもの）
- ・免除期間に係る訂正請求（国民年金保険料免除期間の相違、免除記録なし等の訂正を求めるもの）
- ・その他の訂正請求（第3号被保険者期間の相違、資格取得日の相違等の訂正を求めるもの）

【脱退手当金】

- 支給記録の全期間訂正（脱退手当金の支給対象期間の全期間について、脱退手当金は受給していない旨訂正を求めるもの）
- 支給期間の一部期間の訂正（脱退手当金の支給対象期間の一部期間について、脱退手当金は受給していない旨訂正を求めるもの）

◆ 平成28年10月末現在国民年金保険料の納付率は現年度分で59.1%

厚生労働省は平成28年12月26日、平成28年10月末現在の国民年金保険料の納付率を公表した。

【平成26年度分（過年度2年目）の納付率】

平成26年度末からプラス7.9ポイントの71.0%であった。これは平成26年4月～平成27年3月分の保険料のうち、平成28年度9月末までに納付された月数の割合である。平成28年度末時点の目標は、平成26年度末からプラス7.0ポイントであったため、目標値には達している。

【平成27年度分（過年度1年目）の納付率】

平成27年度末からプラス3.9ポイントの67.3%であった。これは平成27年4月～平成28年3月分の保険料のうち、平成28年度10月末までに納付された月数の割合である。平成27年度末時点の目標は、平成27年度末からプラス4.0ポイントであったため、目標値には達成していない。

【平成28年4月～平成28年9月分（現年度分）の納付率】

対前年同期比プラス2.4ポイントの59.1%であった。平成28年度末時点の目標は、前年度実績から＋1.0ポイントであった。

なお、平成28年4月～平成28年10月分の強制徴収の実施状況は、最終催告状送付が75,972件（前年同期比69,920件増）、督促状送付が31,664件（前年同期比29,678件増）、財産差押が6,274件（前年同期比4,314件増）であった。